

おぎ市議会だより

2014.11月号
Ogi city



ニュース／9月議会

表紙 もくぞうやくし りり こうにょらい ざぞう 木像薬師瑠璃光如来座像

- 平成26年度補正予算・主な事業
.....P 2～3
- 主な議案・会議結果P 4
- 意見書・人事・第2回臨時議会 …P 5
- 常任委員会報告P 6
- 一般質問P 7～15
- 議会報告会P 16
- 議員活動あれこれ・お知らせ
12月定例会(予定)P 17
- 地域の学び舎P 18

平成26年度

一般会計・特別会計補正予算を承認

平成26年度一般会計補正予算(第2号)
1億8,308万円を追加し 総額210億1,133万円

平成26年9月定例会は9月1日から19日までの19日間開催され、諮問1件、報告1件、8件の平成25年度決算認定を含む19件の議案、意見書4件が提出され、慎重審議の上可決された。

歳入の主なものは、普通交付税および前年度決算に伴う繰越金や各種事業に伴う、国・県支出金、寄附金、諸収入、市債のほか、財源調整のための基金繰入金の減少などによるものである。

歳出の主なものは、「牛津公民館等改修事業」、「ふるさと納税推進事業」、農業の「多面的機能支払交付金事業」などである。

平成26年度 9月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第2号)	208億2,825万円	1億8,308万円	210億1,133万円
授産場特別会計(第1号)	2,571万円	—	2,571万円
簡易水道特別会計(第1号)	660万円	58万円	718万円
下水道特別会計(第1号)	27億6,544万円	▲1億9,922万円	25億6,622万円
国民健康保険特別会計(第2号)	56億9,276万円	4,461万円	57億3,738万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,065万円	716万円	4億9,782万円

企業会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
水道事業会計(第1号)	6億2,482万円	—	6億2,482万円
病院事業会計(第1号)	16億9,891万円	▲1,163万円	16億8,727万円

※単位未満の額は切り捨てています。

< 補正予算の主なもの >

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
牛津公民館等改修事業	6,189万円	身近なユニバーサルデザイン推進事業	260万円
ふるさと納税推進事業	4,013万円	天山地区共同環境組合事業	212万円
多面的機能支払交付金事業	846万円	成人用肺炎球菌ワクチン接種事業	203万円
水痘ワクチン接種事業	570万円	東新町浄化施設管理事業	83万円
スマートインターチェンジ整備事業	446万円		

※単位未満の額は切り捨てています。

主な事業

総務・企画

ふるさと納税推進事業

4,013万円

小城市を応援する市外在住の方へ、ふるさと納税（寄附金）を推進し、いただいた寄附金をふるさと応援推進事業として活用する。

小城市 ふるさと納税カタログ Vol.1

佐賀県 小城市 産物の良さを形に受けて小城市の産品をお届けします。

小城市の産品 5,000円以上の寄附対象商品

教育・文化・福祉

自治公民館のトイレの洋式化（身近なユニバーサルデザイン推進事業）

260万円

誰もが外出しやすしい環境づくりの一環として、市内7地区の自治公民館に補助金を交付し、トイレを洋式に改修する工事を行う。

Before

After

改修された様式トイレ

牛津公民館等改修事業

6,189万円

現牛津公民館の機能を旧議会議棟に移設する施設改修を行う。また、旧牛津庁舎跡地の整備及び現牛津公民館の一部改修を行う。この事業の中で用地取得、改修工事及び施工監理業務委託の費用。



▲整備予定の旧牛津庁舎跡地周辺

水痘ワクチン接種事業

570万円



水痘（水ぼうそう）の感染を予防するため、生後12か月から36か月までの幼児を対象に接種を行う。平成26年度に限り、生後36か月に至った日の翌日から生後60か月までの幼児は1回接種できる。接種費用は全額公費。

肺炎球菌ワクチン接種で肺炎予防

203万円

予防接種法の改正によるもの。ワクチン接種で肺炎を予防する。対象者は65歳と、60歳以上65歳未満の者で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる機能障害を有する者。自己負担は2500円。特例措置として5年間は前年度末日に64歳・69歳・74歳・79歳・84歳・89歳・94歳・99歳の者を対象とする。またこれまで実施してきた65歳以上の者への補助事業は今年度まで実施する。



産業・建設

多面的機能支払交付金事業

846万円

農業の多面的機能の維持・発揮のため、日本型直接支払（多面的機能支払）を創設し、地域活動や営農活動に対し支援する。そして、担い手の負担を軽減し、構造改革を後押しする。



▲地域活動による水路整備

主な議案

(議案第47号)

小城市いじめ問題対策
連絡協議会等条例

地域におけるいじめ防
止等のための体制づくり
のために条例を整備する
この条例化より

・小城市いじめ問題対策
連絡協議会（関係機関
及び団体との連携を図
るための組織）

・小城市いじめ問題専門
委員会（いじめ防止等
のための対策を実効的
に行うための組織）

・小城市いじめ問題調査
委員会（「小城市いじ
め問題専門委員会」が
行った調査結果に対
し、再調査を行うため
の組織）を設置する。

(議案第48号)

小城市家庭的保育事業
等の設備及び運営に関
する基準を定める条例

晩婚化、出生率の低下、
子育ての負担感の増加な
どにより、急速な少子化

が進んでいる。そこで、
国は家庭的保育事業が児
童福祉法に位置付けられ
た市町村による認可事業
とし、設備および運営に
関する基準を条例で定め
ることとした。そのため、
小城市においても関連す
る基準を定めるため、新
たに条例を定めた。

(議案第49号)

小城市特定教育・保育
施設及び特定地域型保
育事業の運営に関する
基準を定める条例

認可を受けた幼稚園、
保育園、認定こども園の
施設・事業者からの申請
に基づき、市町村の確認
により財政支援の対象を
決める「確認制度」が始
まる。この基準を、各自
治体が条例で定めること
とされたため、小城市に
おいても新たに条例を定
めた。

会 議 結 果

平成26年 第3回小城市議会定例会議決結果 (9月1日～9月19日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	適任 (賛成20 : 反対1)
議案第47号	小城市いじめ問題対策連絡協議会等条例	文	可決 (全員賛成)
議案第48号	小城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例		可決 (全員賛成)
議案第49号	小城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		可決 (全員賛成)
議案第50号	平成25年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	決算	決算審査特別委員会 付託 閉会中の継続審査
議案第51号	平成25年度小城市授産場特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第52号	平成25年度小城市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第53号	平成25年度小城市下水道特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第54号	平成25年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第55号	平成25年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第56号	平成25年度小城市水道事業会計決算認定について		
議案第57号	平成25年度小城市病院事業会計決算認定について		
議案第58号	平成26年度小城市一般会計補正予算 (第2号)	総・文・産	可決 (賛成20 : 反対1)
議案第59号	平成26年度小城市授産場特別会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
議案第60号	平成26年度小城市簡易水道特別会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第61号	平成26年度小城市下水道特別会計補正予算 (第1号)		可決 (全員賛成)
議案第62号	平成26年度小城市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	総	可決 (全員賛成)
議案第63号	平成26年度小城市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)		可決 (全員賛成)
議案第64号	平成26年度小城市水道事業会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第65号	平成26年度小城市病院事業会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
報告第5号	平成25年度小城市一般会計継続費精算報告書	—	了承
意見書第4号	農業・農協改革に関する意見書	—	可決 (全員賛成)
意見書第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	—	可決 (全員賛成)
意見書第6号	手話言語法制定を求める意見書	—	可決 (全員賛成)
意見書第7号	オスプレイの佐賀空港配備に反対する意見書	—	否決 (賛成3 : 反対17 : 退席1)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 決算…決算審査特別委員会 —…委員会付託なし

議案等の賛否一覧（全会一致以外のみ掲載）

中島正之議長は採決には加わりません

議員名 議案番号	松並陽一	永瀨和正	西正博	光岡実	富永正樹	諸泉定次	樋渡邦美	中島正樹	江島佐知子	深川高志	市丸典夫	岸川英樹	上瀧政登	香月チエミ	合瀬健一	松尾義幸	堤克彦	平野泰造	下村仁司	北島文孝	大坪徳廣
諮問第4号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第7号	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	-	●	○	●	●	●	●	●

○：賛成 ●：反対 -：退席

討論

意見書第7号「オスプレイの佐賀空港配備に反対する意見書」については、国からの説明が不十分で、議論するための材料がなく、判断するには時期尚早であるという内容の反対討論がなされた。

意見書

（第4号）

農業・農協改革に関する意見書（可決）

（第5号）

地方財政の充実・強化を求める意見書（可決）

（第6号）

手話言語法制定を求める意見書（可決）

（第7号）

オスプレイの佐賀空港配備に反対する意見書（否決）

諮問第4号

人権擁護委員の推薦

小城市の人権擁護委員が平成26年12月31日をもって任期満了となるので、後任者を推薦する必要がある。後任の委員に大野良子氏を適任と認めることに決定した。



大野 良子 氏

平成26年度

第2回 臨時会開催

8月21日の臨時会で提案された工事請負契約の締結についての3議案（第44号・第45号・第46号）は賛成多数で可決された。

平成26年第2回小城市議会臨時会議決結果

議案番号	件名	委員会付託	結果
議案第44号	工事請負契約の締結について （（仮）まちなか市民交流プラザ整備事業 建築工事）	—	可決（賛成17：反対3：欠席1）
議案第45号	工事請負契約の締結について （（仮）まちなか市民交流プラザ整備事業 電気設備工事）		可決（賛成17：反対3：欠席1）
議案第46号	工事請負契約の締結について （（仮）まちなか市民交流プラザ整備事業 機械設備工事）		可決（賛成18：反対2：欠席1）

議案等の賛否一覧

中島正之議長は採決には加わりません

議員名 議案番号	松並陽一	永瀨和正	西正博	光岡実	富永正樹	諸泉定次	樋渡邦美	中島正樹	江島佐知子	深川高志	市丸典夫	岸川英樹	上瀧政登	香月チエミ	合瀬健一	松尾義幸	堤克彦	平野泰造	下村仁司	北島文孝	大坪徳廣
議案第44号	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
議案第45号	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
議案第46号	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

討論

（仮）まちなか市民交流プラザに対する予定価格の設定のあり方や事業費が膨れあがったことなどに對する議論があった。

委員会報告

9月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会

質問 防犯灯をLED電球に取り替える事業について区長会に十分説明があったのか。

答弁 区長会で予算に限りがあるので要望が多い場合は全体で調整していくと説明していたが、十分ではなかった。次年度以降も制度を精査して継続していく。

質問 後期高齢者の保険料は一般的に年金からの差引きになっているが納付が遅れたという理由は。

答弁 自営業の方や不動産収入のある人は、普通徴収もあるため翌年度になることもある。

質問 ふるさと納税推進事業の運営状況は。

答弁 観光協会に委託している。お礼の品物は地域の商工業の活性化につながるよう、バランスをうまく取るように検討したい。



▲お礼の品の一例

文教厚生常任委員会

質問 現牛津公民館は廃止の予定だったのが、なぜ引き続き公民館として使うことになったのか。

答弁 牛津公民館の改修検討委員会で、現在活動している社会教育団体の活動の場をなくさないで欲しいとの意見が出され、旧議会議棟を改修しても部屋数が不足する状況であるため、現公民館も活用したい。

質問 駐車場の借地は市長は返却すると説明していたが、いつから購入に変わったのか。

答弁 旧議会議棟を公民館として改修して再利用する計画だった。

その時に現公民館の建物については解体し借地も返す予定だったが、今回現公民館を残すことになり、有効的に使うとなれば駐車場は必要で土地の購入を決定した。



▲社会教育施設として存続することになった現牛津公民館

産業建設常任委員会

質問 小城本町地区の公共下水道事業は県道の道路改良工事に合わせて前倒しで施工することになっているが、どのような工事内容か。

答弁 現在、小城駅から北へ県道の拡幅工事が行われている。今回2工区目の部分の用地買収が終わり、県が平成27年度から事業を始めることになっており、その前に歩道部分に下水道管を埋設する作業を平成26年度中に行うと土木事務所と協議をしている。

質問 多面的機能支払い交付金について、小城市内で取り組んでいる組織数と法律改正に対する取り組みは。

答弁 取り組んでいる集落は、小城町60・三日月町41・牛津町21・芦刈町29である。平成26年度は移行期間で平成27年度から法制化され、5カ年間の事業となる。農地水交付金事業の組織から多面的機能交付金事業の組織への移行申請を行っている。



▲多面的機能支払い交付金による整備中の水路



光岡 実

土砂災害への取り組みは

市長

土砂災害危険箇所を示し、周知をしている

光岡 土砂災害について、小城市の防災の現状と、土砂災害防止法に基づき取り組みは。

い。
現段階では、土砂災害危険箇所として、その範囲を示し、周知が図られている。

市長 現在、県では土砂災害防止法に基づき、警戒区域や特別警戒区域の指定に向けて取り組まれているが、小城市内の指定まではまだ至っていない。

なお、急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けたところは、のり面の保護やブロック積等の対策が取られている。



▲山間地帯における土砂災害状況

光岡 県下の土砂災害警戒区域の指定の進捗率は約30%と聞くが我が小城市への予定は。

建設部長 小城市を管轄する佐賀土木事務所によると、現在、佐賀市と多久市の調査を行っており、小城市には、本年度から基礎調査に入ること。

その他の質問

- 特別養護老人ホームへの入所待機者の現状
- AED 設置と活用
- アライグマ対策とマダニの人への影響と対策
- 水循環基本法に関して



北島 文孝

消防団員の処遇改善策は

市長

消防団員の活動実態に合わせて見直している

北島 消防団員の確保対策には団員の待遇改善と地域や家族の理解が必要と思うが。

市長 合併時は訓練のみ費用弁償として手当を支給していたが、25年度より行方不明者の捜索また本年度より火災、風水害の出勤にも支給するよう改善した。また消防団の活動等もアピールしていく。

北島 3月議会において農業用の道路や用排水路について受益者負担が5%から10%に変更する

環境整備事業

北島 環境事業には他にも4つの事業が有るが農業農村整備事

条例が提出され否決されたが今後どうするか。

産業部長 多くの要望に対応するため区長会等に負担割合の説明に廻っている。

北島 3月議会でもなぞ否決されたと思うのか。また部内で検討したのか。

産業部長 住民に対する説明不足であると痛感した。

北島 環境事業には他にも4つの事業が有るが農業農村整備事



▲夏季訓練（小型ポンプ操法訓練）



永瀨 和正

災害から市民を守る方策は

市長 防災対策室で監視をし対策を講じている

永瀨 7月3日の大雨で、砥川小学校付近の国道34号線と砥川保育所裏が冠水した。その対策はどうするのか。

市長 牛津町柳鶴の満神排水機場の排水容量と各排水ポンプ場間の稼働連携が必要。砥川保育所裏の冠水対策は担当課と協議して対応していく。



▲7月3日の大雨で冠水した国道34号砥川小付近

市長 排水ポンプを設置した時期と気象状況が変わっている。排水ポンプの増

設について国等に申し入れることが必要である。

永瀨 小城町門前地区の未整備の排水樋門4か所、樋管5か所と水路の狭隘部の改修をするべきではないか。

産業部長 県で取り組まないか中部農林事務所に相談している。

永瀨 牛津町前満江地区内の水路整備はいつ完了するのか。

産業部長 地元と協議し、予定している前満江排水機場の完成までに水路整備を完了する。



合瀨 健一

不登校児対策は万全か

教育長 子ども一人一人に対して深く把握している

合瀨 不登校になった原因をすべて把握されているのか。

教育長 情緒的な混乱によるもの、無気力によるもの、いじめを除く友人関係、家庭的な状況、学業不振、非行が挙げられている。

合瀨 いじめで不登校になった子どもはいるのか。

学校教育課長 不登校の原因にいじめはない。

合瀨 いじめはないというので安心したが、不登校児の確認はされているのか。

教育長 家庭訪問を行い、てほしいと要望があり、残すこととした。

旧牛津庁舎北別館を残す必要はあるのか

合瀨 旧議会議事棟が牛津公民館に改修予定であるが、現公民館は残す必要があるのか。

教育長 23団体で活動されており、それに対応しているために残し



▲牛津庁舎北別館は必要か

りた方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。



下村 仁司

小城市の土砂災害対策は

市長

時間雨量100mm超えで、土砂災害が相当起きると予想する



深川 高志

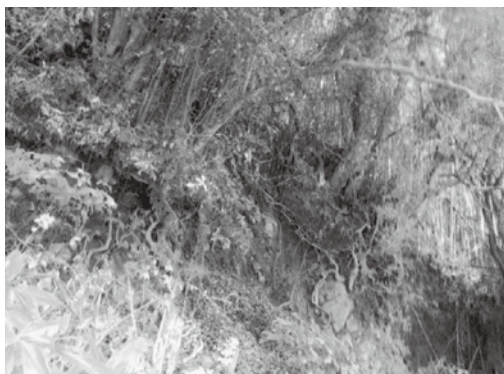
道路管理と維持補修の状況は

市長

傷みがひどい路線から順に補修を計画している

下村 もしも、100mmのゲリラ豪雨が降った場合、小城市の急傾斜地崩壊危険箇所対策や土石流危険渓流対策は。

市長 警戒すべき212か所の中で、39か所は砂防三法の指定を受け完了、16か所は県の補助事



▲ゲリラ豪雨による土砂災害現場

業で随時対応している。さらに、県の指定を受け取り組む。

下村 県はどのように指定するのか。

建設部長 基本的に急傾斜地の指定は災害が発生した所を県が指定し、

工事をする事になってる。

下村 三里地区の或る急傾斜地では日ごろから石が落ちてきたり、大雨の時はすごい水量が家の庭を流れるとのことだが対策工事はされていない。どうするのか。

建設部長 広島の土石流災害後、県との協議では来年少しできない。

クリークと水路整備について

下村 牛津川堤防沿線の水路整備は。

産業部長 武雄河川事務所からは、市の事業として整備するよう回答を受けている。

下村 県営クリーク防災事業の反省点と改善策は。

産業部長 水路の畦畔(けいばん)やのり面の崩壊、残土処分など取り組み、改善策は県と協議中。

深川 市内の国県道、市道について、市道の多くは舗装して40年以上経過し劣化が進んでいる状況であり、部分的補修を行ってきたが、地域住民の往来や一般車両の通行に危険を及ぼしており、

国の社会資本整備総合交付金事業を利用して舗装補修が実施されている。市内の道路管理、補修状況はどうなっているのか。

市長 国県道については、道路の沈下や剪定不足での視界不良箇所、住民から直接連絡を受けた箇所について、国県に連絡し対応している。市道については、道路の舗装補修、路肩の補修、

路肩の除草、側溝清掃等を地元の方と連携し管理を行っている。月に1回定期的にパトロールを行い、現状の把握に努めている。

深川 大雨時の冠水による県道牛津川上線の通行止めに対する市の対応は。

産業部長 三日月の一号排水路のゲート調整は下流域との調整をしながらゲート調整をやっている。今回の場合、下流域の

福所江の水量が非常に多かったのが原因と考えている。



▲大雨時通行止めとなった県道牛津川上線(牛津町乙柳地区)



岸川 英樹

各町の開発地区の

取り組み状況は

市長

7月に第1回土地利用検討部会を実施

旧牛津庁舎跡地の利用について

副市長 26年3月に決定された「まちづくり推進エリア4地区」の開発計画はどう進められていくのか。

市長 まちづくり推進エリアに、小城町は定住促進が望まれる「三里地区」、三日月町は開発が見込まれる「小城駅南地区」、牛津町は市営住宅建設が予定された「牛津駅南地区」、芦刈町は有明海沿岸道路の「芦刈インターチェンジ周辺」を選定した。現在、土地利用検討部会を庁内で開催し、まちづくり推進本部や都市計画審議会にて審議し決定する。

副市長 跡地は芝生を植え、一部は公民館や体育館の駐車場に決められた理由は。跡地はJRの牛津駅、国道が2本通っている非常に交通の便もよく、今後活用の方策の検討を。

市長 財政圧迫の要因となるため解体し、更地にすする。一部緑地としての整備は、地区住民の代表及び区

長会の要望に沿った形にもなっている。

その他の質問

- 教育方針について
- 小中一貫校への取り組み
- フック物洗口対応
- 食物アレルギー対応



▲緑地・駐車場に整備される旧牛津庁舎跡地



上瀧 政登

砥川地区の

抜本的な水害対策は

市長

国・県に対して強く要望していく



▲排水能力アップを求められる満神排水機場

たが、道路等が冠水し農作物も被害が出た。市内の排水機は30年以上経過したものほとんどで、牛津川の河川改修は少しずつ進んではいくが、根本的なことは早く内水面の雨水を排水することだと思われる。満神の排水機能を高めるために国、県

副市長 JR長崎本線柳鶴第3踏切の安全対策の進捗状況は。

市長 ここはカーブになっており大変見通しが悪い。改善の必要性は認識しているが、JRや県とよく協議をして解決に努力したい。

副市長 現在147本の電車が通過しているが、フリーゲージトレインが走れば190本になる。早急に安全性の確保を行っていただきたい。

副市長 砥川地区の抜本的な水害対策は。

に対して強く要望活動を行っていく。

市長 本年7月と8月の大雨時、水害が発生し満

神ポンプ場もフル稼働し

JR長崎本線柳鶴第3踏切について

総務部長 JR九州、県とも技術的な課題等について協議はした。



香月チエミ

財政の健全化に

臨む留意点は

市長

財政健全化判断比率を見定め
注目し対応する

香月 平成25年度小城市の財政状況について、主な財政指標の動向は。

総務部長 経常収支比率、実質公債費比率、財政力指数、それぞれ悪化傾向になっている。ただ、他団体と比べればほぼ平均的な位置と思う。

香月 ①実質公債費比率について元利償還金等は今後減るか。見直しは。

②一時借入金利子について、何の目的でどこから借りたものか。

③将来負担比率について「一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額が、充当可能財源を下回るため良好な状態」とし

て赤字額はなし、というのが今後下水道の事業実施等に伴って、公営企業債等の増加も見込まれるなかで、将来負担額は減っていないのではないか。

財政課長 ①合併特例債の償還額は年々増加し、平成32年度にピークになる見込み。

②支払い時の不足分を基金から借り入れたもの。

③現状では、充当可能財源の中に鉅害復旧基金が入っている。

これについては、国・県の指導で入れてもいるという形の中

で算出しているの、将来負担額よりも充当可能財源が大きくなり、マイナス表示となる。

その他の質問

○生活困窮者自立支援対策について



▲財政は健全か (小城市役所)



富永 正樹

小城市のめざす

生ごみの堆肥化は

市長

段ボールコンポストでの処理方法を広げたい

富永 現在の小城市の可燃ごみの総量は年間約1万5000トンで、焼却のためのキロ当たりの燃料費30・45円をかければ約3億2,000万円が炉の中で灰になる構図だ。

その中で「生ごみ」は大

体3割程度の量を占めているということ、約1億円強の大事な市民の血税が何も生み出すことなく灰になっている。NP法人伊万里はちがめプランが取り組んでいるところの、生ごみの堆肥化へ思い切ってシフトして取り組む考えはないか。同法人は現在250軒分年間500トンの生ごみから、なんと6割に当たる、300トンの堆肥をつくり販売している。

市長 はちがめプランの大規模な処理の仕方とか、今まで取り組んできた「くう

▲生ごみの堆肥化に取り組む「伊万里はちがめプラン」

たくさん」それから段ボールコンポストとかいろいろあるが、生ごみの処理というのは、手間暇をかけるに簡単に行かない、虫が湧かない状況で簡単にできる方法として、自らも取り組み中の小城市が今進めている間伐材の回収ボックスを家庭でやってみよう方法が一番ベストと思っております、小城市としては、このやり方をぜひ広げたいと思っています。

その他の質問

○生ごみ教育の推進について



樋渡 邦美

これからの小城市の

教育目標は

教育長

子どもたちの生活とか学力向上等々を目指していく

樋渡 平成26年度小城市の教育白書の中で、各学校施設等の整備が進み学力の向上、各種教育の充実、施設内の向上を示されているが、子どもたちの体力の向上や知識の向上について乏しい感じはないか。

院のあり方について問われているが、**市長** 病院管理者に方向性の検討を指示している。

教育長 23年、24年度がゼロで25年度に1人発生している。体罰の規定は懲戒の内容が身体的性質なもので、殴る蹴るの肉体的苦痛を与えるような懲戒、また長時間の正座や特定の姿勢なども体罰と捉えている。

教育長 これまではハード面、ICT、いろんな学校施設は拡充してきた。子どもたちの生活や学力、また家庭の経済格差の中でさまよう子どもたちの心のケアなどを改善していく。
*ICT:情報通信技術の総称

樋渡 教育方針の中でい

市民病院のあり方は

樋渡 今、市民病



▲小城市民病院



江島佐知子

むし歯予防の促進を

教育長

フッ化物洗口を中学校まで導入していく

江島 ①子どもの歯の健康状態は生涯の健康に大きく影響してくる。12歳児の小城市のむし歯の状況は全国・佐賀県の平均よりも数が多い。健康診断で出される治療勧告書をもっと活用すべきではないか。

0%の児童が実施しているが、中学校でも導入すべきではないか。

れるなか、放課後児童クラブの充実も課題の一つである。

教育長 ①保護者に対して治療勧告書でお願いをしているが実施率は35%程度となっている。治療を促すようもっと徹底していきたい。

①高学年の受入について。
②時間の延長について。
③土曜日の毎週開設について。

②小学校まで導入されている学校でのフッ化物洗口についてはほぼ10

②学校保健行為という位置づけで、できることから実施していく。

教育長 ①今の施設では無理な状態。28年度からの実施に向けて整備していく。

から実施していく。

②喫緊の課題として学校側とも調整していく。

③毎週開設に向けて検討している。



▲フッ化物洗口による虫歯予防

放課後児童クラブの充実を

江島 来年度から子ども子育て新制度が実施さ

その他の質問

○小城祇園祭七百年祭に向けて



市丸 典夫

公共施設の使用料について

市長 合併協議会の中で決定した

市丸 公民館の小会議室の冷暖房費が1時間あたり300円となつてい

る。どこで決めたのか。200円、嬉野市100円となつている。小城市の300円というのは他市と比べると、やや高いのではないか。

かる。市民の皆さんにはその一部について負担をお願いしたい。

その他の質問

○税の徴収について

市長 合併前に、合併協議会の社会教育分科会の中において決定した。旧町では設定金額において、1時間250円から520円と、大変違いがあった。その料金をもとに協議を重ねて決定をし、現在の料金となっている。

副市長 施設の規模や用途、そういったものを総合的に見て、それぞれの自治体が判断をされていると思う。

市丸 利用される方が他市との差に不満を持っておられるがどうする。

市丸 他の市町を調べたところ、武雄市の北方公民館が750円と突出しているが、佐賀市が100円、唐津市100円、鳥栖市200円、鹿島市

副市長 施設の改修の費用から維持管理、また人件費など一定の金額が



▲公民館利用者の活動風景



松尾 義幸

生立ヶ里の

土のう積み箇所対応は

市長

アスカーブ^{*}設置で地元と協議している

中町信号東側の冠水対策は。④土砂災害警戒区域の指定は。

年度から県による基礎調査が始まる。

産業部長

建設部長

①生立ヶ里、小城市門前、芦刈町下古賀に土のうを積み、原因の一番は、時間雨量20mm以上の雨が4時間以上続いたため。

建設部長

地元からの要望もあり、設置に向けて協議をしている。

②福所江の水位が満潮と重なり、三日月一号排水路への排水を5時間中断したため。③大雨で急激に水量が増加し、農業用水路から水があふれた。④今

その他の質問

○オスプレイの佐賀空港配備について

○三日月町立石集落西側の水路の樋門の改修について



▲以前は設置されていた生立ヶ里のアスカーブ

松尾 ①7月3日の土のう積み箇所と原因は。②牛津町生立ヶ里の団地2か所の土のう積み箇所の抜本的対策は。③小城市

*アスカーブ…路面の雨水を路肩に集め排水溝まで雨水を誘導させる道路構造物



西 正博

胃がん予防対策に

ピロリ菌検査導入を

市長 国の動きを見ながら、必要な対策を図りたい

西 国の胃がん検診ガイドラインの2013年版に、ピロリ菌は胃がん発症に因果関係があることが証明されている。ピロリ菌の除菌にも保険適用が認められた。胃がん検診をバリウムを飲んでレントゲンによる検査方法から内視鏡によるリスク検査に変更された市もあるが、小城市が変更できないのであれば、市が実施する健康診断で行われる血液検査の中にメニューとして市民が選択できるような制度を整えても良いのでは。

市長 胃がん検診の受診率は、県内では上位だが、年々下降傾向にあり、大

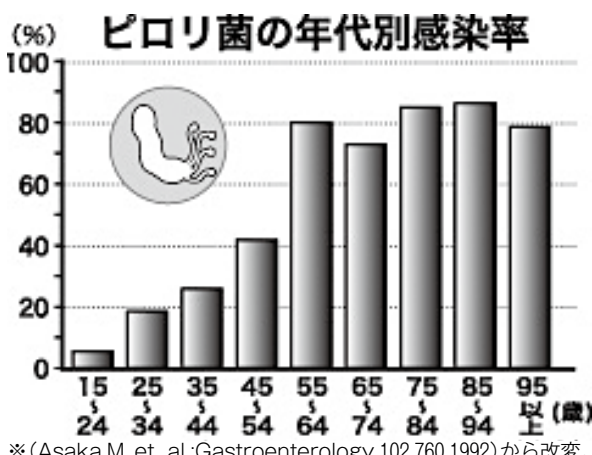
西 胃がん

大きな課題になっている。ピロリ菌の検査方法として、血液や尿や便から抗体や抗原の検査、また呼吸検査などがあるが、国の動きを見ながら、必要な対策を図りたい。

市長 国の対応に期待をしながら、市としてしっかりと補

その他の質問

助ができるようにしていきたい。
○安心安全な道路のあり方と問題点について
○市の環境施策について



中島 正樹

交流プラザの維持管理

運営はどうする

市長 指定管理制度導入に最善をつくす

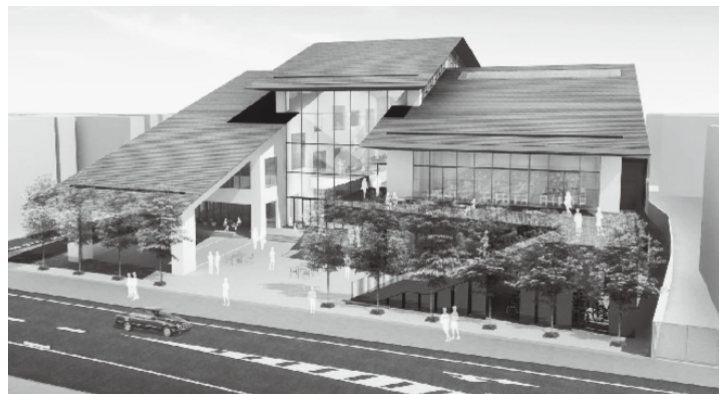
中島 平成21年6月に県内初の認定を受けて着手した中心市街地活性化事業の中で、最優先事業の「仮まちなか市民交流プラザの維持管理と運営主体等の現状、経費試算、今後の予算と計画はどうなるのか。

建設部長 経費試算については現在、算定を進めている段階である。今後の予算について

は、平成27年度当初予算として1億4,212万7千円を計画し、備品購入費、北別館等の解体、倉庫新築、外構工事を行う予定だが、議会から北別館等の解体、倉庫新築は既存建屋を利活用することによるコスト削減を図るべきとの指摘を受けている。現在、既存建屋の再利用の検討を行っている。

中心市街地活性化推進室長 条例の上程時期は12月議会。協定書の締結は、指定管理者指定後の平成27年7月めんどと考える。

中島 設置条例の上程と基本協定の締結時期はどう考えるか。



▲ (仮称) まちなか市民交流プラザ完成予想図



諸泉 定次

公立での

認定こども園の構想は

教育長

小城市幼児教育審議会
必要との答申です

諸泉 公立幼稚園を含めた新たな民営化方針が出されたが、公立での認定こども園の構想は。また、そのための職員のスキルアップもどう考えるか。

教育長 保育園・幼稚園民営化ガイドラインで、移管前に事業者との共同保育など、子どもたちや保護者の不安解消と経営安定に助言していく。また、小城市独自の幼児教育・保育ネットワークで公立・民間・託児所など一緒に職員のスキルアップの研修会をやっており、今年度も11回実施した。小城市幼児教育審議会答申でも、公立の幼保一体化施設が必要と判断した。

諸泉 問題は嘱託の保育士の絶対数が不足している。賃金・5年間の雇用期間・採用時期の遅れが指摘されているが。

教育長 正規職員も来年度から減っていく。さらに嘱託職員は最長5年の雇用期間であるが、これを2年程度、勤務評定をしながら延長する考えを持っている。また処遇改善については、関係部課と協議して改善したい。募集時期は他の嘱託職員と合わせていたが、できるだけ早い時期に

募集したい。

その他の質問

○市民協働でのごみ減量化対策
○市民病院のあり方

教育長 保育園・幼稚園民営化ガイドラインで、移管前に事業者との共同保育など、子どもたちや保護者の不安解消と経営安定に助言していく。また、小城市独自の幼児教育・保育ネットワークで公立・民間・託児所など一緒に職員のスキルアップの研修会をやっており、今年度も11回実施した。小城市幼児教育審議会答申でも、公立の幼保一体化施設が必要と判断した。

教育長 正規職員も来年度から減っていく。さらに嘱託職員は最長5年の雇用期間であるが、これを2年程度、勤務評定をしながら延長する考えを持っている。また処遇改善については、関係部課と協議して改善したい。募集時期は他の嘱託職員と合わせていたが、できるだけ早い時期に



▲公立幼稚園では初の民営化が計画されている芦刈幼稚園



松並 陽一

旧牛津庁舎跡地の

活用方法は

市長

緑地公園と駐車場の整備を進めていく

松並 旧牛津庁舎跡地に緑地公園と駐車場を整備するに至った経緯は。

市長 昨年9月以降に開催された校区别まちづく

り懇談会と区長会において出された意見を尊重し、反映させた。

松並 緑地公園と駐車場を整備した場合のそれぞ

0万円を見込んでいる。
義務教育で地元の現状と真剣に向き合う必要性は

れの建設費用と年間維持費用の見込みは。

教育部長 建設費用について、緑地公園は約1,500万円、駐車場は約1,100万円、また年間維持費について、緑地公園の芝生部分で100万円から15

教育長 現在、小・中学校の総合学習の科目において、地域の人々の暮らしや伝統・文化を学ぶ時間を多く設定している。加えて、指摘されているようなことも、子どもたちは学んでいく必要がある。



▲整備予定の旧牛津庁舎跡地の周辺

議会報告会を開催しました

7月29日・30日(19時30分～21時)、市内4か所ので、昨年に引き続き2回目の議会報告会を開きました。今回の参加者は57名で、様々なご意見やご質問を頂きました。ご参加くださった皆様、本当にありがとうございます。お受けしたご意見やご提案は、全議員の共通認識とし、また、担当部署へも伝えております。詳しい質疑応答の内容やご意見などは、小城市ホームページ(小城市議会のサイト)をご覧ください。ただ、市役所東館3階議会事務局でご覧いただけます。

各会場で出された 主なご意見やご質問

牛津公民館

(7月29日 11名参加)



①説明が漠然として、市当局の説明のように感じられる。市からの提案に

対して議会はどのように議論し、可決・否決したか説明してほしい。

②まちなか市民交流プラザについて、周辺に類似施設もあるなかで庁舎跡にそもそも箱物が必要か。約4億円の追加予算は、内容のグレードアップか。また、ワークシヨップで市民の意見を取り入れて方向性が出されたというが、その人選はどのようなになされたのか。

③議会報告会への参加者を増やすために呼びかけにもっと工夫をすべきではないか。
④議会報告会ではなく、議員と語る会の方がよい。

⑤もっと牛津、芦刈に目を向けてほしい。

芦刈地域交流センター あしぱる

(7月29日 9名参加)



①地区の防犯灯の電球をLEDに取り換えることについて、各区10個までいいとのこと申請した。申請数が予定数を上回ったということで、半分しか通らなかった。議会からも働きかけてほしい。

②農業の多面的機能支払交付金の申請は書類作成

が難しいので、簡素化をお願いしたい。

③交通弱者のことを考えタクシーの助成券が利用できるよう、もとに戻してほしい。

④情報化の推進というところで、インターネットでの情報発信が柱となっているようだが、市のホームページの評価はどうされているか。
⑤議員報酬の削減はできないか。

生涯学習センター ドゥイングス三日月

(7月30日 22名参加)



①消防団の出動手当金が

支払われていないこともあると聞くが、実態は。国の基準を大幅に下回っているのではないかと。

②議員定数についてどのような議論がされているか。

③佐賀空港のオスプレイ問題は、議会としてどのように考えているか。

④小城市のJABバラック跡に、ひらまつ病院が建設中だが、市民病院との兼ね合いについて議会はどう考えているか。

⑤まちなか市民交流プラザの当初予算からわずか2か月後に約4億円の追加だが、当初予算の枠内で事業を行うべきではないか。

⑥4町が合併して10年になるが、合併効果を議会としてチェックしているか。

小城保健福祉センター 桜楽館

(7月30日 15名参加)

①まちなか市民交流プラ

ザについて、設計を東京の山下設計に委託された理由は。

②政務調査費をちゃんととって、もっと議員活動を活発にすべきと思う。

③国民健康保険税について未納が多く赤字だと聞くが、未納額は。

④市民病院が今後どうなっていくのか。市民病院はなぜ必要か。救急医療の実績はどれくらいか。

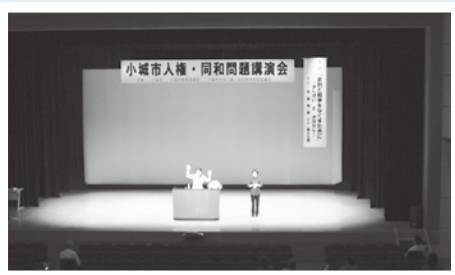
⑤不登校で小城市の中学校を卒業した方は何名か。
⑥財政や予算の説明について、市民にもっとわかりやすく、身近なもの結びつけるような広報の仕方はできないか。



議員活動あれこれ



佐賀県市議会議長会
議員研修会
(8月1日)



人権同和問題講演会
(8月7日)



小城市消防夏季訓練
(8月17日)



(仮称)まちなか市民交流
プラザ 起工式
(9月26日)

決算審査特別委員会を開催

9月29日から10月9日まで、樋渡委員長をはじめ9名の委員による、平成25年度決算の審査を行いました。審査内容につきましては、次号でお知らせします。

決算審査特別委員会名簿

(委員9名)

委員長	樋渡	邦美
副委員長	光岡	実一
	松並	陽一
	永淵	和正
	富永	正樹
	深川	高志
	松尾	義幸
	平野	泰造
	北島	文孝



表紙の紹介

木像薬師瑠璃光如来座像

(国重要文化財、昭和25年指定、牛津町上砥川3696 常福禪寺)

寺歴は詳かではないが、桃山末期の頃、空海草創を唱える真言宗寺院を、古月和尚が中興し、今の臨済宗に改めたと伝える。本像は当寺本尊で、右手で施無畏を示し、左手に薬壺を執る一般的な薬師如来像であり蓮華座に結跏趺坐する。像高は82・7cm、頭体根幹部を檜の一木から彫り出し、

右肘先、両手首先、膝前などは寄せ木づくりである。一切衆生の心身の病魔を除き法薬を与えられるという如来の面相には、慈悲深いまなざしの中にもまた、端然としたきびしい表情が見られる。八葉蓮華の輪光背や、木像漆箔の蓮華の台座は後補になる。様式的には平安時代末期(12世紀)の作と思われる。

*1 仏・菩薩が衆生の恐れ的心を取り去って救う印相で、右手の5指をそろえて伸ばし、手のひらを前に向けて、肩の辺りに上げる。

*2 欠損した箇所などを後世に補修して直すこと。

お知らせ

第4回定例会(予定)のお知らせ

11月27日(木)	定例会 《開会》	9日(火)	議案質疑
12月2日(火)	一般質問	10日(水)	常任委員会
3日(水)	一般質問	11日(木)	常任委員会
4日(木)	一般質問	12日(金)	常任委員会
5日(金)	一般質問	18日(木)	討論・採決・閉会
8日(月)	議案質疑	(* 日程など都合により変更になる場合もあります。)	

地域の学び舎

小城市立

うし づ 牛津小学校

創立 明治7(1874)年10月
第5大学区佐賀県管内第7中学校区
小城郡牛津作新小学校として創設
明治15年4月
牛津校区
牛津小学校と改称
児童生徒数 454名



町たんけん(2年)



牛津小学校 校歌

一、くもいにそるる 天山の
峰のかきわのいや高く
おのが尊き身をきたえ
たゆまずはげめ 文の道

二、不知火もゆる 有明の
海のそこのいや深く
師長の教えまもりつつ
たゆまずみがけ 人の道

学校教育目標

規範意識の高い子どもの育成
～遅刻ゼロ・宿題忘れゼロ・いじめゼロを目指して～

目指す子ども像

- 自ら学ぶ子ども
- 温かい心をもつ子ども
- 生き生きと活動する子ども
- 地域とふれあう子ども



親子ふれあい活動(5年)

主な行事・事業

- ◆ 1年生を迎える会・歓迎遠足
(協力・学校愛)
- ◆ 親子ふれあい活動
(親子の絆づくり・学年の和づくり)
- ◆ マラソン大会
(ねばり強くがんばる力・自己に挑戦)
- ◆ 人権教室
(思いやりの心)

学校の特徴や特長

【地域のじまん】

- 「牛津町の建設は教育より」と教育に関して行政も住民も関心が深く、教育的環境の整備に協力的であり、公民館を中心とした社会教育(津の里ミュージアム等)にも熱心で子ども達には大変恵まれた地域です。

【児童・学校のじまん】

- 男女仲良く、明朗活発で人になじみ、社交性があります。
- 読書が好きで、本年度から読書タイムは教諭も一緒に読書をしています。
- 運動会・歓迎遠足・一斉下校などでは、上級生が下級生をかわいがり、よくお世話をしてくれます。
- きらきらタイムでは、担任だけではなく、全職員で子ども達の計算問題対応をしています。

編集後記

実りの秋を迎え、市内あちらこちらで五穀豊穣を祝う秋の神事が行われています。

台風18号、19号と立て続けに日本全域に大きな被害をもたらしましたが、小城市では大きな被害もなく何よりだったと思います。大難を小難に、小難を無難に。日頃からの備えが必要だと改めて感じさせられるところです。

議会としても、それぞれの地域に根ざした様々な行事も大切にしながら安心安全なまちづくりを心掛けたいと思います。皆様のご意見お待ちしています。
(江)

委員長 富永 正樹
副委員長 光岡 実
委員 江島佐知子

西 正博
永 和正
松並 陽一